



平素より園運営にご理解・ご協力いただきありがとうございます。
水遊びの楽しい季節です。暑さに慣れないこの時期は特に熱中症に気をつけながら子どもたちの五感をくすぐる教育・保育に努めてまいります。

◇◇◇令和7年度の研究テーマ◇◇◇

小学校には教科書がありますが、こども園にはありません。では何をもって教育・保育とするのか。それは、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』をもとに、子どもたち一人ひとりの姿や発達段階をみとり、研究テーマを掲げ、育ちを保証すること。研究テーマを職員みんなで考えあい決定することで、職員同士同じ気持ちで学び合うことが教育・保育の質の向上に繋がります。職員の保育の質の向上が子どもたちの健やかな育ちとなり、心地よく過ごし自分らしさが発揮できると考えました。では具体的な取り組みを一部紹介します。

- 公開園内研究会を実施。園内だけでなく八尾市内の就学前施設の職員も参加して学び合います。近隣の小・中学校の先生も参加します。令和6・7年度は武庫川女子大学の鶴教授にもご指導・ご助言をいただきます。
- 月に1度、全職員が集まり夜の学習会を実施しています。
- 八尾市の様々な研修会にも参加します。
- 毎日ダイアリーを記入し、保育の振り返りに活用します。

前年度の研究で“心も体も元気いっぱい！自分らしさ輝くこども園～心地よいそよかぜの中 育ちあい認め合おう～”と題し、研究を進める中で、どんな自分もありのままを受け入れてもらえる安心感から遊びが広がり、深まり、友達との会話も増えました。今年度も同じ研究テーマを掲げ、職員も自分らしさを発揮しながら、子供達のウェルビーイングを支えてまいります。

◇◇◇かみつき(乳児編)◇◇◇

乳児は(特に0.1歳)安心できる担任の側から、好きな玩具や本を見つけ、少しずつ自分の心地いい居場所を見つけます。好きな遊びを担任と楽しんでいると、側には笑顔のお友達もいて、保育士を介して、友達と同じ空間にいることも心地よくなってきます。でも、まだまだ自分の使っていた玩具は自分の物！違う遊びに興味を示したスキに、側にいた友達がその玩具を使うと、「それ私の！」と“かみつき”で気持ちを表現することもあります。また、横で遊んでいて気持ちが高揚した時も“かみつき”で喜びを表現してしまうこともあります。そんな時には「Aちゃん、使ってるんだよね」や「Aちゃんのこと大好きなんだよね」と気持ちを受け止め、噛まれてしまった子どもの顔を一緒に見ながら「Bちゃん痛かったね。ごめんね」と代弁します。そんな時、噛んでしまった子は悲しそうな顔をします。大人に【怒られた】ではなく、相手の気持ちが伝わるように援助しています。

このように言葉にできない子供の思いを丁寧に見取り、すぐに対応し“かみつき”を未然にふせぎ、子供の気持ちを代弁し、言葉で伝える経験を重ねることで、心地よい人とのかかわり方を学べるよう、今後も努めてまいります。

お家でも、言葉にならない様々な表現(かみつき・癇癪・イヤイヤ)を成長のチャンスと捉え、まずは気持ちを受け止め、言葉に言いかえてみてください。(…といっても子供は時間や気持ちに余裕のない時に限って、そんな姿を見せますよね💦) そんな時はいつでも担任や職員室までお知らせください。

◇化学マジックにガチャピン先生(北山本の教頭先生)が来てくれました◇

ガチャピン先生がまず見せてくれたのはスプーンまげ！！あつという間にグニッと曲がるスプーンに子供達も大人も大興奮！！(後でこっそり教えてもらったのですが…『この三要素(力点・支点・作用点)』が大事なんですって～学生の時に聞いたことある～と職員で盛り上がりました(´艸`)他にも色々な化学マジックを見せてくれましたよ。

○書いている文字がアイロンの熱で消えてしまう化学マジック。○段ボールに煙を入れて、1つの面を丸くくりぬき、側面を両手でたたくと、輪っかの煙が！！輪っかの煙が出るたびに大騒ぎ。なんと三角でも丸い輪っかになる化学マジック。○水の色が何度もかわったり、水を入れたのに、水が消えたりする化学マジック。

などなどたくさんの化学の不思議に触れさせていただきました。誕生日のお友達に手伝ってもらったり、5歳のお家の方に手伝ってもらったりして子供達の目はずーっとキラキラでした。

